

朝霞市立朝霞第二中学校様 修学旅行実施時の対応方

株式会社 JTB 川越支店

支店長 納代 信也

担当 阿部 友紀

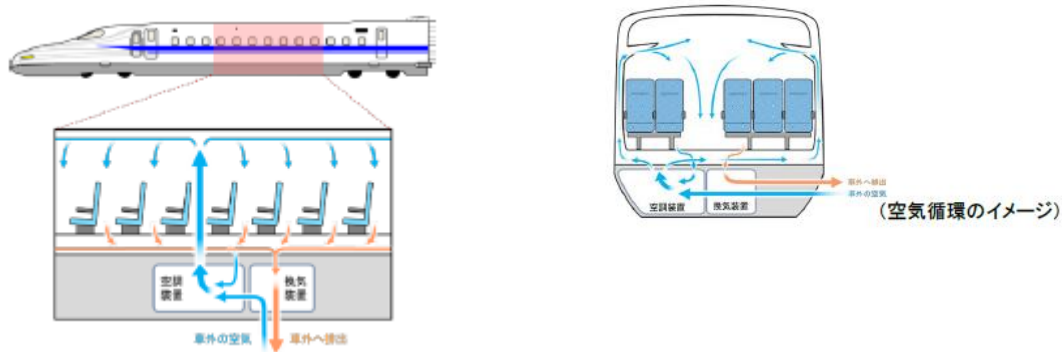
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

日本旅行協会、各関係個所ガイドラインに沿って修学旅行に向けた対応策を報告させていただきます。

① 交通機関

<JR (新幹線)>

・車内の換気 : 空調・換気装置により、常に外の空気との入れ替えを行うなど、快適な環境をご提供するように努めています。(計算上では、約6～8分で車内の空気が新しい外の空気とすべて入れ替わります。)



・こまめな消毒の実施 :

- 駅や車内では、お客様の手が触れやすい場所を中心に、消毒液を使用した清掃を定期的に行っています。
- 車両清掃時の消毒では、トイレのドアノブ・座席のテーブルやひじ掛け等、お客様が触れやすい箇所を定期的に消毒しております。
- 駅社員・乗務員は、感染防止のためマスク着用、手洗いを励行しています。

・乗車される方へのお願い : 下記は新幹線にご乗車のすべてのお客様に対して、車内放送等でお願いしています。

- ご乗車の際は、マスクの着用をお願いいたします。体調の優れないお客様は、ご乗車をご遠慮ください。
- 車内での会話は控え目をお願いいたします。
- 座席を回転して対面でのご利用はお控えください。
- デッキをご利用の際には、周りのお客様へご配慮いただくとともに、飲食はご遠慮ください。

## <帝産観光バス（1・3日目 奈良・京都／3日目 東京）>

### A. バス車内の換気対応

→ バスには自動で内気循環・外気導入に切り替える換気制御装置があり、走行中も清潔な空気を保ちます。  
また現在は強制的に換気して運行しております。（これにより約 5 分で全ての空気の入れ替えができます）

### B. バス車内除菌対応

- ・空調設備による換気以外にプラズマクラスターイオン発生機を搭載した車両で現在運行しております。
- ・入庫後の車内清掃を行い、除菌を行っております。
- ・出庫前には担当する乗務員による車内消毒を座席・カーテン・手すりなど細部まで行っております。
- ・バス車内には消毒液を設置しており、お客様もご利用いただけます。

### C. 感染防止対策

- ・車内での感染防止対策として、運転席周辺を透明のビニールで囲い飛沫感染の防止につとめています。
- ・ガイドの案内時には、フェイスガードを装着し飛沫感染を防止するとともに、必要に応じビニール手袋を装着し対応いたします。

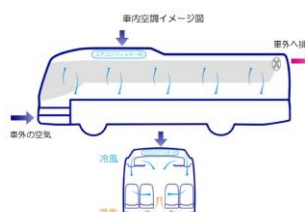
### D. 乗務員の対応

- ・乗務員には、出勤前の自宅および出庫点呼時での検温を 2 回実施し、万一発熱があった際のマニュアルを策定しております。
- ・運転士・バスガイドは、乗務中はマスク着用を基本とさせていただきます。
- ・全ての従業員には、手洗い・うがいの励行と健康管理の徹底を促しています。

### E. 営業所での対応

- ・事業所内入口にアルコール消毒液などを設置し、お客様をお迎える場所は常に換気を行っております。
- ・従業員間の飛沫感染対策として、ビニールシートを設置しています。
- ・従業員の出勤者を少なくし、出退勤時刻もラッシュ時間帯を外すなど感染予防につとめています。

※大型観光バスは、「外気導入モード」時、車両の前方と屋根上のエアコンから新鮮な空気を取り入れることによって、概ね 5 分で 車内の空気を入れ替えることができます。



## <日本交通（2日目 京都市内タクシー研修）>

### A. 車両の消毒について：

車両の消毒については保有全車に対し毎朝、出庫する際に車内清掃とともに消毒を各車毎しております。

### B. マスクについて：

現在、乗務員も内勤している社員も全員がマスクを着用しています。

### C. 乗務員の体調について：

弊社では必ず、出勤時にまず体温を計り発熱のある乗務員および体調面に問題があると対面した運行管理者が判断した場合は出庫を停止しております。社内には手指用のアルコール消毒液も用意されています。

弊社といたしましても 手指は毎日の習慣としていましたが最近では『ドアノブ』など手に触れそうな、部分も徹底的にアルコール消毒液で拭き掃除をしております。

## ② 宿泊施設『三木半旅館』

### ◆館内設備

⇒館内では以下の設備・除菌の徹底をしております。

- ・フロントにアクリル板を設置
- ・除菌スプレーの設置（各フロア共用スペース・ロビー・客室・大浴場・広間）
- ・大浴場にスリッパ除菌 BOX を設置
- ・客室清掃時に除菌の徹底（ドアノブ・トイレ便座他）
- ・共用スペース清掃時に除菌の徹底（エレベーター・ロビー他）
- ・共用スペース（エレベーター・ロビー他）の定期的な除菌
- ・大浴場（出入口扉他）の定期的な除菌

### ◆スタッフに対する取り組み

⇒・お客様と接するスタッフ、調理スタッフへのマスクの着用を徹底しております。

- ・出勤時に手洗い及びアルコール消毒を行います。また検温測定を実施し発熱や体調がすぐれない従業員は勤務いたしません。
- ・スタッフは接客時に消毒を徹底しております。

### ◆ご来館のお客様へのお願い

⇒・ご到着、ご帰館の際に消毒用アルコールで手指の消毒をお願いします。

- ・共有スペースでは可能な限りマスク着用をお願いします。
- ・発熱されているお客様、また体調のすぐれないお客様はご来館をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ・ご体調が悪く感じた場合は、すぐにお近くのスタッフまでお申し出ください。

### ③ 食事会場

#### <奈良：なら和み館（1日目昼食会場 1・2・3組）>

##### ◆施設・従業員対応

- ・全従業員のマスク着用（出入り業者にも徹底）
- ・朝出勤前に必ず検温し、体調不良時は自宅待機
- ・館内のアルコール消毒・次亜塩素酸ナトリウムで清拭（テーブル・椅子・ドアノブ等）
- ・食事会場入り口にアルコール消毒薬の設置

##### ◆食事時対応

- ・入口でのアルコール消毒
- ・真正面の配置を避ける
- ・食事中の適宜換気
- ・スタッフは調理・配膳時に手袋・マスクを着用し、アルコール消毒を実施した上で調理・配膳の実施

#### <奈良：ホテルアジュール・奈良アネックス（1日目昼食会場 4・5・6組）>

##### ◆施設・従業員対応

- ・就業中マスクの着用を徹底
- ・出勤時・就業時・各作業の切り替え時などこまめな手洗い・手指の殺菌を徹底

##### ◆レストランでの取り組み

- ・エントランスなどのパブリックスペースに消毒用アルコールの設置
- ・テーブルや備品のアルコール消毒を徹底
- ・清掃の際には手袋を着用
- ・ドアや窓の定期的な開放を行い、換気を徹底

### <京都：メルパルク（3日目昼食会場 1・3・6組）>

#### ◆店舗の衛生管理

- ・ソーシャルディスタンスの徹底
- ・アルコール消毒の設置
- ・施設内換気の励行
- ・館内共用部の消毒の強化

#### ◆従業員対応

- ・全従業員のマスク着用（出入り業者にも徹底）と適切な手洗い、消毒の実施
- ・朝出勤前、出勤時に必ず検温し、体調不良時は自宅待機
- ・発熱や風邪などの症状がみられる場合には店舗責任者にその旨を報告し、勤務の可否を判断致します。

### <京都：都ホテル京都八条（3日目昼食会場 2・4・5組）>

#### ◆店舗の衛生管理

- ・入店時の備え付け消毒液による手指の消毒
- ・テーブル・椅子等ご利用毎に洗浄液を用いて清掃及びアルコール消毒の実施
- ・除菌おしぼりの提供
- ・窓・ドアに開放による換気

#### ◆従業員対応

- ・通勤時を含むマスクの着用
- ・出勤時の検温・体調申告と手洗い、うがいの徹底
- ・勤務中の定期的な手洗いと消毒
- ・バックスペースにおけるアルコール消毒液の設置

#### ④ 添乗員対応について

- ・出発当日までは健康管理に留意し、万全の体制を整え、期間中はマスクを着用いたします。
- ・大声でのご案内は極力抑えるように工夫した打ち合わせとご案内を致します。
- ・食事会場や宿泊施設には、可能な限りの換気や除菌を要請します。
- ・新型コロナウイルス感染症の相談窓口の連絡先、営業時間などを訪問地域ごとに準備します

※実施時の注意事項

◆集合・解散時

- ・集合場所で検温し、37.5 度以上の場合は学校と協議の上、帰宅を指示する。
- ・集合時、移動時、乗車中のマスクの着用と最小限の会話にする。
- ・できる限り密を避けた広い集合箇所、または分散集合等 J R に要請する。
- ・集会は時間をかけず、短めに実施し、大声での案内を避ける。

◆**現地にて発熱時（7/21 現在の対応方）**

- ・発熱基準（37.5°以上）を設け、引率責任者と相談の上、※旅館のかかりつけ医がある場合、そちらに電話相談し、指示に従う。または「**新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口**」（075-221-3421／24 時間対応）に連絡し、感染の疑いのある該当者の状況や症状を伝え、その後は指示に従う。

※旅館のかかりつけ医：武田病院 [TEL:075-361-1351](tel:075-361-1351) 京都市下京区塩小路通西洞院東入ル



- ・保健所等の指示のもと、症状がある場合該当者を救急車で病院搬送する。同行者を事前に決定しておく。添乗員は基本同行しない（他濃厚接触者対応）。※発熱生徒は荷造りを行ったうえで病院へ向かう。



- ・PCR 検査必要可否を、指示された病院にて受診の上判断いただき、必要あれば検査を受ける。検査後は保健所の指示のもと、該当者を隔離する。（濃厚接触者に関しては保健所に要確認）  
※PCR 検査結果出るまでに 1 ～ 2 日かかる。  
※検査結果出までの待機場所は京都市で確保しているが、現在準備中。  
（宿泊施設：隔離部屋／移動中：別交通手段利用など）



※検査結果が出るまで、その他症状のない旅行者には現在のところ行動の縛りはないが、保健所の指示に従う。（例えば帰着日になってしまった場合帰ることも不可ではないが、全員の隔離及び検査が必要との指示がでた場合、従う必要あり）



●検査結果が陽性のとき：即入院

- ・発熱生徒・濃厚接触者の保護者に連絡し、引き取り確認を行い、以降の入院及び検査、帰宅対応を行う。  
※帰宅対応方：公共交通機関の利用可否等確認
- ・その他濃厚接触者にあたる者は、各箇所の相談窓口へ連絡  
（帰宅してしまった場合、**埼玉県民サポートセンター：0570-783-770**）

●検査結果が陰性のとき：

- ・保健所や病院の指示のもと、体調に問題なければ団体に復帰、または帰宅対応

#### ◆新型コロナウイルスに対応する保険

コロナウイルス等疾病の治療費を補償する保険はございません。ただ学校旅行総合保険にて、該当者が医師の治療を受けた際、その親族の往復交通費及び現地滞在時の宿泊費用、該当者の帰宅交通費に関しては、補償がございます。（最大2名様分、合計50万円まで）

※濃厚接触者の宿泊、交通費に関しては医師の診断がないため補償されません。

#### 学校旅行総合保険

主な補償内容としては・・・

・保険ご加入の生徒様が、旅行中に発症した病気やケガで医師の治療を受け、その結果その後の旅行が全く続けられなくなり、旅行を途中で取りやめて団体から離団して帰宅することになった場合に、保護者様が救援のために現地へ急行する費用、被保険者様の帰宅費用が補償されます。

#### ※保険金お支払いの為の三要件

1. 旅行中に発症した病気、もしくは旅行中のケガが原因であること
2. 責任期間中に医師の治療を開始していること
3. その結果、予定していた旅行が不可能になり、離団※したこと

（※一時離団、途中合流や隔離は離団に含まれません）

#### ●主な補償内容

・親族の往復交通費、滞在費用と本人の帰宅交通費用（本人の現地交通費は補償対象外）